

研究テーマ	自分の思いや願いを伸び伸びと描く絵画指導の工夫 第1学年「のってみたいな」（しゃぼん玉にのって）の実践を通して
-------	--

常陸大宮市立大宮北小学校 教諭 浅野 直子

## I 研究テーマについて

低学年の児童は、図画工作が好きと言う子が多いが、実際活動をするとう興味関心が持続しなかったり、表現能力が未熟なため自分の思いが表現できず途中であきらめたりすることが多い。そのため、成就感がもてず図工を嫌がる子がいる。

そこで、一人一人が自分の思いや願いを持続しながら成就感を味わえるような指導を工夫したいと考えテーマを設定した。

## II 研究の実際

1 題材名 のってみたいな 「しゃぼん玉にのって〇〇へ行こう」

2 題材の目標

しゃぼん玉に乗って、楽しく想像しながら絵に表す。

3 題材について

(1) 児童の実態 (男子9名, 女子6名, 計15名)

本学級の児童は未経験の事が多く、授業の導入場面では感動をする児童が多い。その感動が興味関心となり、授業に集中して取り組むことができる。しかし、図工科においては、特に「絵に表す」活動では、興味関心が持続できないことがある。それは、技能が伴わない、あるいは絵を描いた経験が少ないため、自分の思いや想像したことが表現できず興味関心が薄らいでしまうからである。そして、描き上げたという成就感が少ないのである。また、1年生のため長時間（45分以上）の活動が困難な児童もいる。

<実態調査> 第1学年15名 平成26年9月実施

図工の時間は好きですか。	①好き8人 ②普通2人 ③あまり好きではない3人 ④嫌い2人
③・④と答えたわけ	・絵描きがへただから4人 ・上手に作れないから2人 ・面倒だから1人
絵を描くのは好きですか。	①好き8人 ②普通3人 ③あまり好きではない2人 ④嫌い2人
③・④と答えたわけ	・上手に描けないから4人 ・描き方が分からない1人

<入学当初の絵>



(2) 題材観

教科書では、自分が乗ってみたい物を想像し、表し方を工夫しながら絵に表すことを目標としているが、技能が伴わずに最後まで楽しく活動できない児童たちのことを考え、実際に遊びとして活動したしゃぼん玉に限定して取り組むことにした。

しゃぼん玉の形や色、しゃぼん玉に乗ってる人たち、そして何処へ行くのか、想像を広げながら取り組むことで楽しさを持続しながら活動させたい。

(3) 指導観

経験の少ない児童たちが自信を持って楽しみながら最後まで取り組めるよう、学校生活の中で共通の経験をさせ、本題材に取り組ませたいと思い他教科との関連を図りながら実施したい。

生活科で遊んだしゃぼん玉を思い出しながら、しゃぼん玉の形や色を考えどんな材料で表すか話し合わせる。また、しゃぼん玉に乗っている時の動きも考え、動作化を取り入れたい。何処へ行きたいか想像する時は、国語科で学習した「くじらぐも」のことを思い出し、想像をふくらませたい。

また、児童の興味関心の持続力を考え一気に作品を仕上げるのではなく、時間を区切って活動することにした。活動1つ1つに成就感が持てるよう配慮したい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
しゃぼん玉に乗って何処へ行こうか想像し、描くことを楽しもうとする。	しゃぼん玉に乗って何処へ行こうかを考えることができる。	しゃぼん玉や行きたい所の色や形を工夫して表すことができる。	絵を見て話し合い、楽しさを感じることができる。

5 指導と評価の計画（6時間扱い）

○は時数

時間	学習内容・活動	評価規準【評価方法】
第1次 ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃぼん玉をかこう</li> <li>しゃぼん玉にのってみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃぼん玉に乗って何処へ行こうか想像し、しゃぼん玉を描くことを楽しもうとする。 関</li> <li>しゃぼん玉の色や形を工夫して表すことができる。 関</li> </ul>
第2次 ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃぼん玉にのって○○へいこう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃぼん玉に乗って何処へ行こうかを考えることができる。 関</li> <li>行きたい所の色や形を工夫して表すことができる。 関</li> </ul>
第3次 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちのしゃぼん玉のたびをみてみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵を見て話し合い、楽しさを感じることができる。 鑑</li> </ul>

6 指導の実際

活動内容 ・ 教師の働きかけ	児童の反応
<p><b>1 題材を知る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>しゃぼん玉にのって、○○へいこう。</p> </div>	<p>「えー、しゃぼん玉にのれるの？」 「ふわふわとんでいけるね。」 「とおくまでいっていいの。」</p> <p>「にじいろできれいだったよねえ。」 児童たちは、生活科で遊んだしゃぼん玉を思い出し、わくわく感がでてきた。</p>
<p><b>2 しゃぼん玉をかこう。</b></p> <p>「しゃぼん玉は、どんなふうにかきたい？」</p> <p>「何で描こうか？」</p> <p>「絵の具は、まだ持っていないよね。」</p>	<p>「きれいにかきたい。」 「カラフル？」「にじいろがいい。」</p> <p>「クレヨン。」「クーピーもいいね。」</p> <p>「絵の具は？」</p>

「実は、いい物があるんだ。」と言  
ってチョークを見せた。

「いいよ、ほら見てて。」と、画用  
紙に赤チョークで円を描いて見せ  
た。

「全部染めると、中に人を描けなく  
なっちゃうから、こす  
るといいよ。」

ティッシュを軽く丸め、  
しゃぼん玉の中心に向かっ  
てこする。



「えー、チョークで描いていいの？」  
チョークは黒板に描く物と思っていた児  
童たちは、とても驚き、描く意欲が増し  
てきた。

「わー、きれい。」

「ほんとだ、しゃぼん玉みたい。」

### 3 しゃぼん玉にのってみよう。

「今日は、しゃぼん玉に乗っている  
自分やお友達を描きましょ  
う。」

「しゃぼん玉の中でどんなふう  
にしているか、やってみようか。」

「では、しゃぼん玉に乗っている  
人を描きましょう。」

「お気に入りのしゃぼん玉に乗っ  
ていいよ。」

「しゃぼん玉からはみ出したら、われちゃ  
うよね。」

床にしゃがむ子・床に寝て体を曲げる子  
・手を大きく広げる子・・・

「どのしゃぼん玉に  
しようかな。」



「猫や犬ものせ  
たいな。」

「お友と乗っ  
てみようかな。」

「しゃぼん玉を切りましょう。」

「本物みたいだね。」



### 4 しゃぼんだまにのって〇〇へいこ う。

①行きたい所を描く  
「しゃぼん玉に乗って何処へ行きた  
いですか？」

しゃぼん玉に乗って行きたい所をク  
レヨンで描く。

「村のほうへ、町のほうへ、海のほうへ。」

「くじらぐもみたいだね。」

「ぼくは宇宙へ行きたい  
な。」

「恐竜の世界がいい。」





「わたしは、ちょう ちょうさんと遊びたい。」

「海の中がいいな。 お魚さんと一緒に泳ぎたいよ。」

「しゃぼん玉に乗って、にじの所まで行きたいな。」

「にじをたくさん越えたいな。」

「ぼくは、東京へ行って新幹線やビルを見るんだ。」



②描いた絵にしゃぼん玉を貼る。  
「しゃぼん玉をのせましょう。」

「しゃぼん玉の向きや、貼る場所を工夫しましょう。」



「どこに貼ろうかな。」

「お魚とお話してるみたい。」



「恐竜の背中に乗ってるよ。」



③絵の具で仕上げる。  
「今日は、絵の具を使って仕上げましょう。」

まだ、絵の具セットを持っていないので、いろいろな色で作った色水から好きな色を選び、着色した。



「ピンクが好き。」



「恐竜の世界は、火山が爆発しているから 紫がいい。」

「東京に夕方行ったんだ。」

「海の中だから水色だよ。」





## 5 シャボン玉のたびを見てみよう。

①作品の説明や工夫したところを発表する。



「東京へ行きました。高いビルがたくさんあって、新幹線が走っていました。夕方なので、オレンジで染めました。」

「恐竜とじゃんけんをしました。」



「海の中で、いろいろな魚たちと会って楽しかったです。」



「シャボン玉に乗って、ちょうちょうとダンスを踊りました。」



②友達の発表を聞いた感想を発表する。



<友達の感想>

- ・たくさんの魚たちとお話ししているみたいで楽しそうでした。
- ・シャボン玉の中の人たちが、寝ているのがおもしろかった。



・大きくて赤い虹のすべり台か気持ちよさそうで、わたしもすべりたくなりました。



・虹色の火山がかっこいい。まねしてみたいな。



・宇宙人のかっこうがかっこいい。宇宙人といっしょに飛んでみたい。

③反省アンケートをする。  
 <児童の反省アンケート>

1	チョークを使ってしゃぼん玉をかい	楽しかった14	ふつう1	楽しくなかった0
		上手にできた13	ふつう2	あまりよくできなかった0
2	行きたい場所	楽しくかけた13	ふつう2	楽しくなかった0
		上手にできた11	ふつう4	あまりよくできなかった0
3	しゃぼん玉を貼った	楽しかった11	ふつう4	楽しくなかった0
		うまくのせられた10	ふつう5	よくできなかった0
4	全体を見て	上手にできた11	ふつう3	あまりよくできなかった1

III 研究の成果と課題

- ・共同体験をしたしゃぼん玉を題材にしたり、国語の[くじらぐも]を意識して話題の中に入れたりしたので、活動中は会話が弾み楽しく活動できた。
- ・しゃぼん玉をチョークで描くことで新鮮さを感じたり、ティッシュでこすることで簡単に淡い感じが出せしゃぼん玉らしくなったりと、成就感を味わうことができた。
- ・活動を区切って行うことで、その時間その時間の達成を感じ、仕上げるまで楽しく実施できた。
- ・人物や動物を描く力がまだまだ未熟である。物を見て描く技能をつけるためクロッキーを計画してみたい。
- ・今回の活動を通して、活動が楽しくかつ自分の思いが表現できることが児童たちの成就感につながるということが分かった。教師は、活動を楽しむ工夫や素材の活用、表現力を付けるための工夫をすることが大切だと思った。

